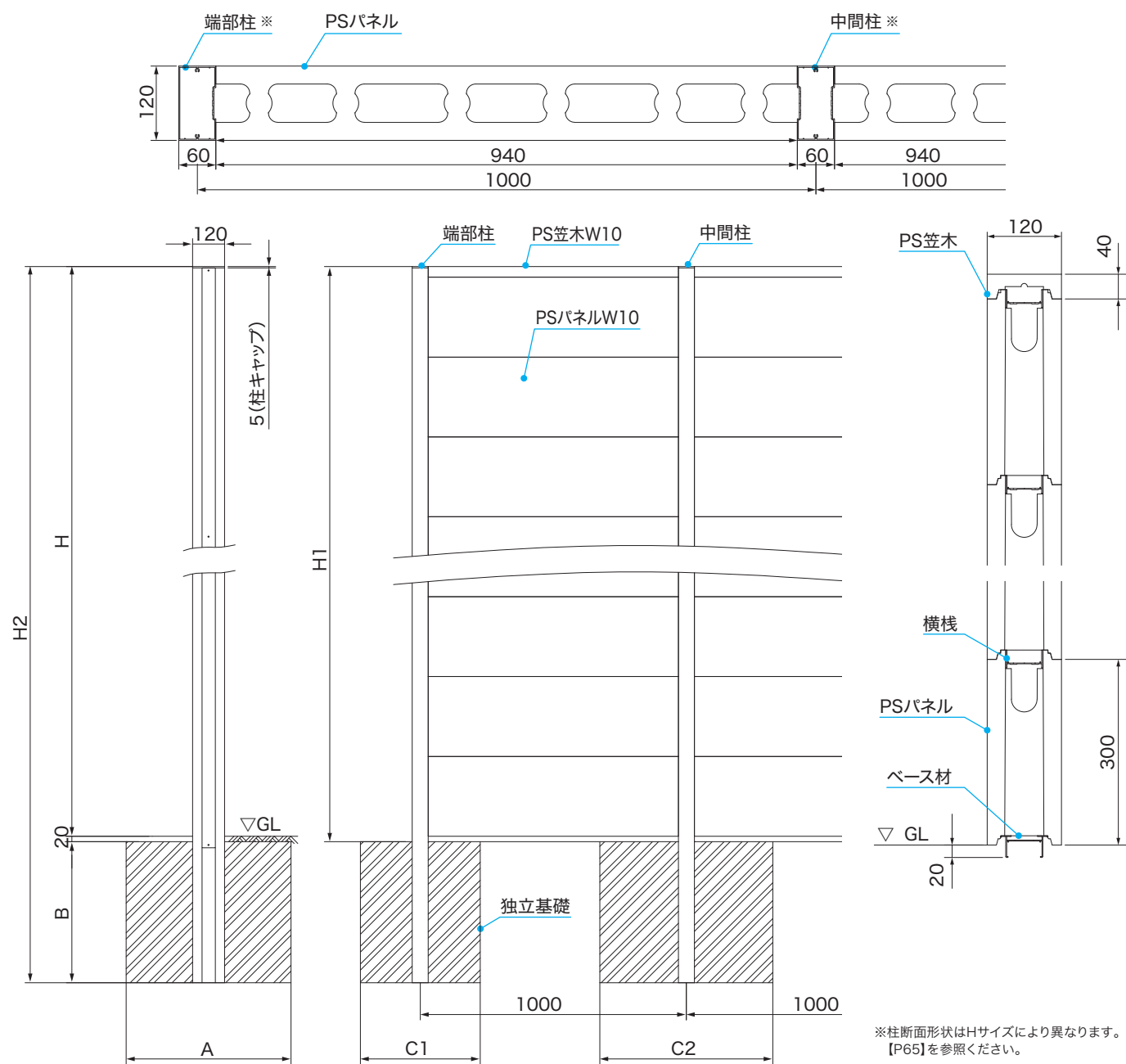


詳細納まり図 1型

現場貼付タイプ 現場塗装タイプ 片面工場塗装タイプ

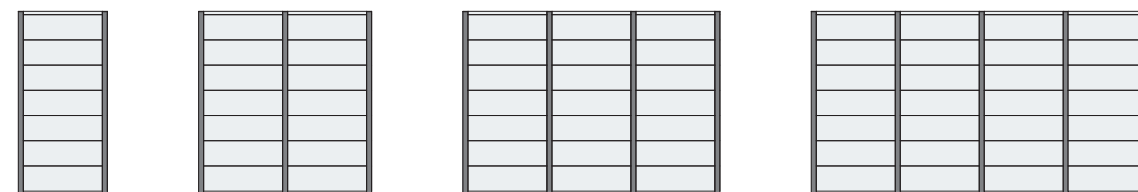
独立基礎納まり



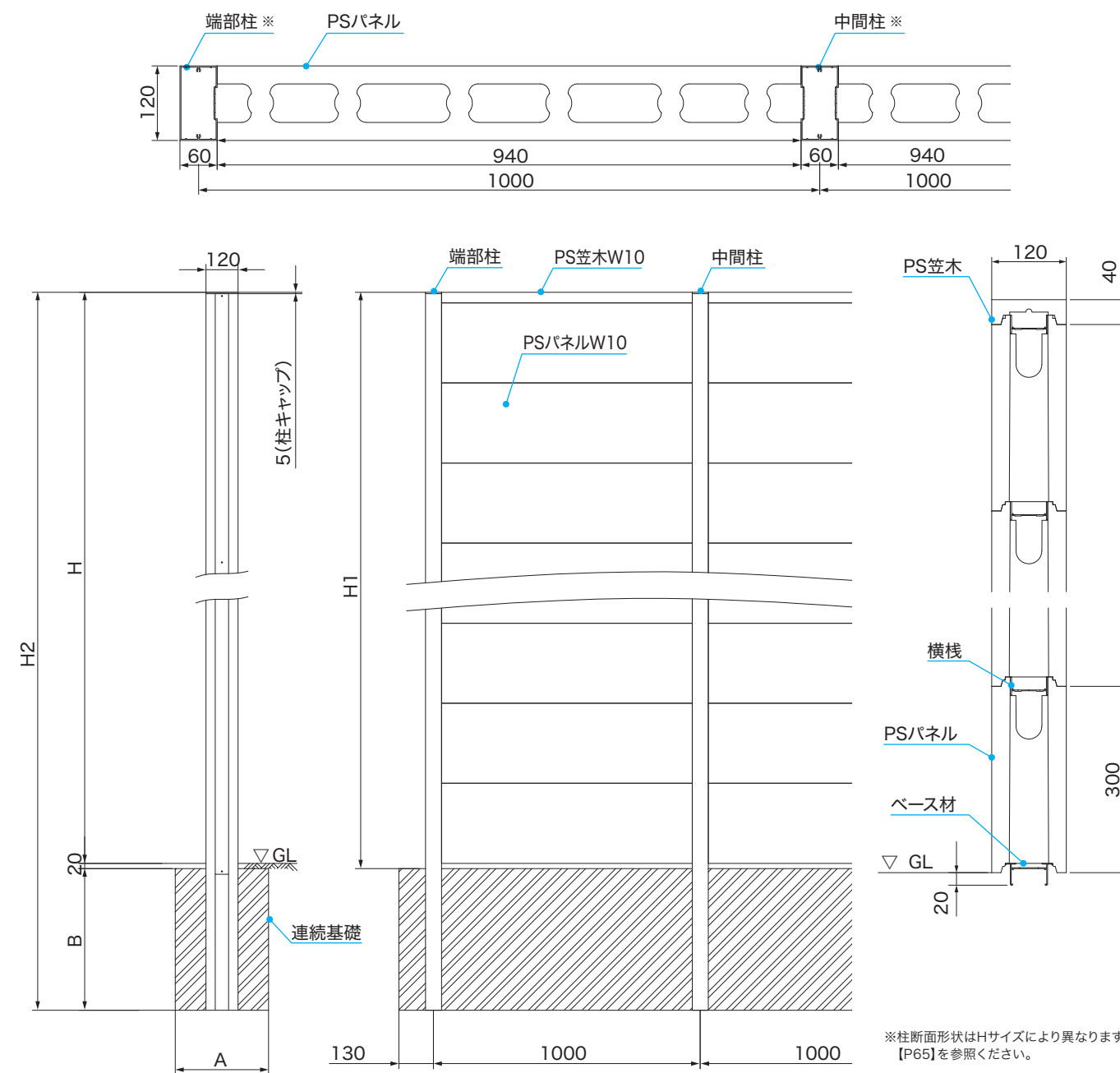
■独立基礎寸法表(mm)

サイズ	H1200		H1500		H1800		H2100		H2400		H2700		H3000
タイプ	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様
H	1243		1543		1844		2144		2445		2745		3046
H1	1263		1563		1864		2164		2465		2765		3066
H2	1713		2013		2364		2694		2990		3465		3866
A ※1	420		520		560		620		700		640		640
B	450		450		500		530		525		700		800
C1 ※1	250		270		300		330		370		340		340
C2 ※1	420		520		560		620		700		640		640

※塗装仕様17kg/m²の場合は軽量セメントモルタル10mm厚塗りの場合を想定しています。貼り仕様は両面貼りを想定しています。※1. 偏芯基礎の場合はA・C1・C2の寸法に20mm加算してください。※基礎寸法は、基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力50kN/m²の時の参考寸法です。



連続基礎納まり



■連続基礎寸法表(mm)

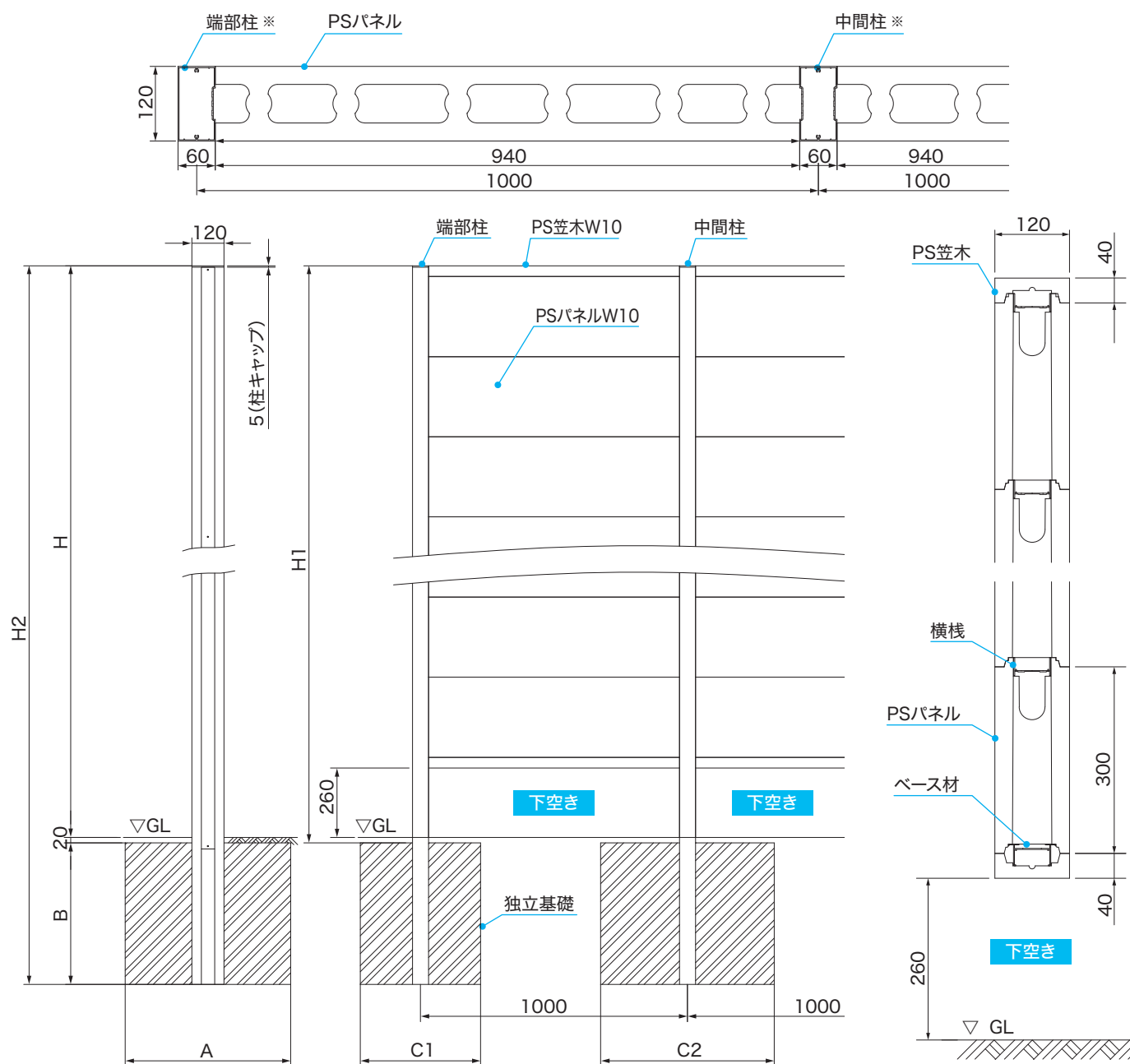
サイズ	H1200		H1500		H1800		H2100		H2400		H2700		H3000
タイプ	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様
H	1243		1543		1844		2144		2445		2745		3046
H1	1263		1563		1864		2164		2465		2765		3066
H2	1713		2013		2364		2694		2990		3465		3866
A	250		250		300		300		400		350		350
B	450		450		500		530		525		700		800

※塗装仕様17kg/m²の場合は軽量セメントモルタル10mm厚塗りの場合を想定しています。貼り仕様は両面貼りを想定しています。※柱偏芯の場合も同寸法です。※基礎寸法は、基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力50kN/m²の時の参考寸法です。

詳細納まり図2型

現場貼付タイプ 現場塗装タイプ 片面工場塗装タイプ

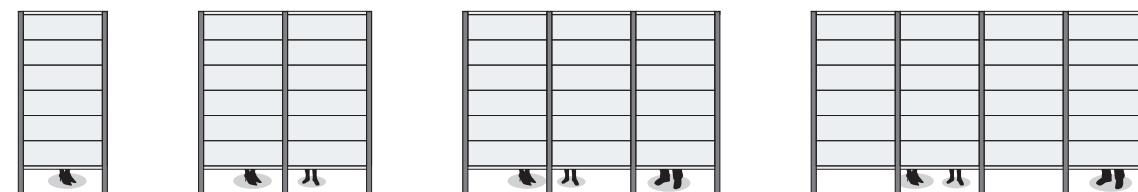
独立基礎納まり



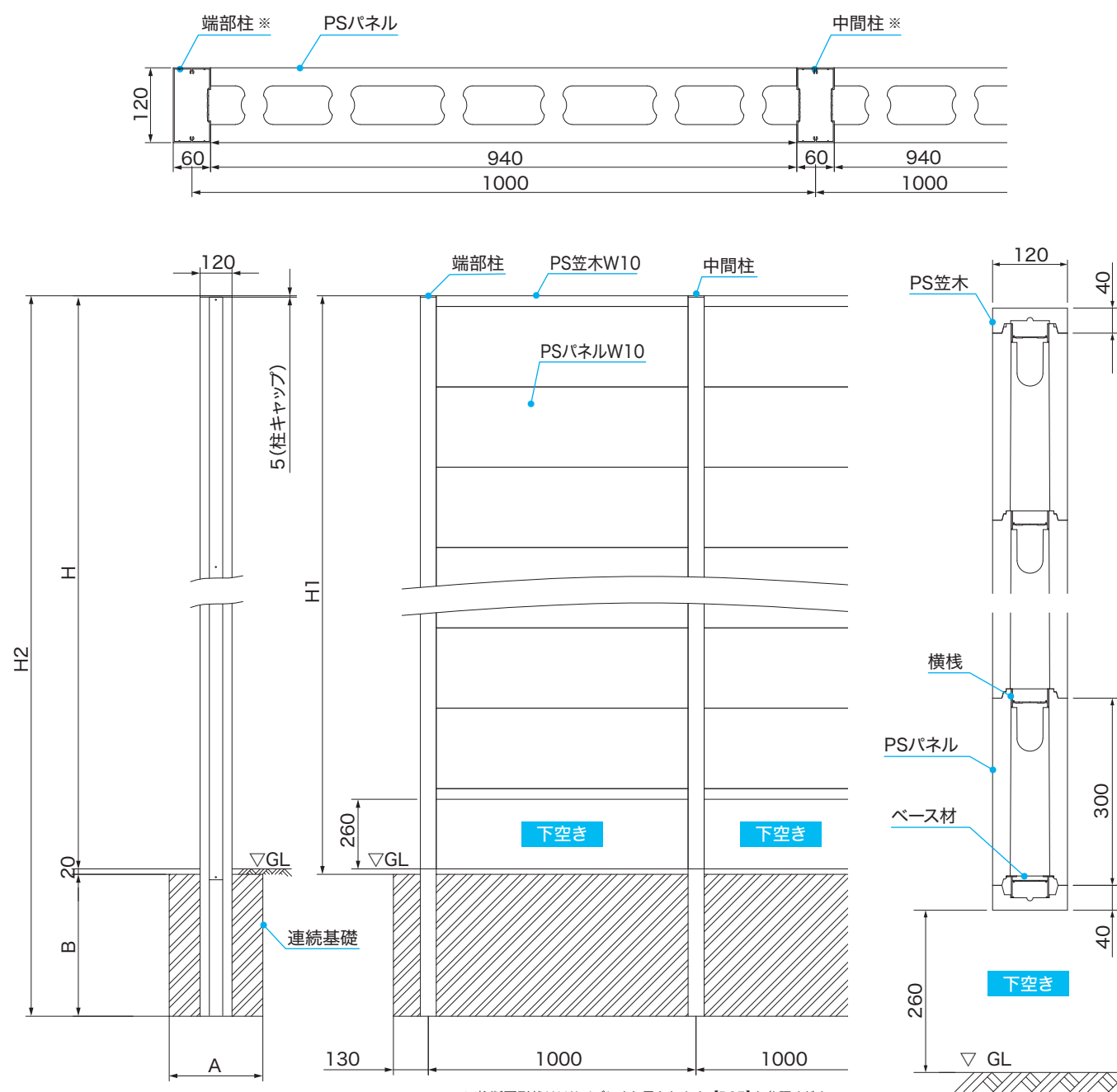
■独立基礎寸法表(mm)

サイズ	H1200		H1500		H1800		H2100		H2400		H2700		H3000
タイプ	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様
H	1243		1543		1844		2144		2445		2745		3046
H1	1263		1563		1864		2164		2465		2765		3066
H2	1713		2013		2364		2694		2990		3465		3866
A ※1	420		520		560		620		700		640		640
B	450		450		500		530		525		700		800
C1 ※1	250		270		300		330		370		340		340
C2 ※1	420		520		560		620		700		640		640

※塗装仕様17kg/m³の場合は軽量セメントモルタル10mm厚塗りの場合を想定しています。貼り仕様は両面貼りを想定しています。※1. 偏芯基礎の場合はA・C1・C2の寸法に20mm加算してください。※基礎寸法は、基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力50kN/m²の時の参考寸法です。



連続基礎納まり



■連続基礎寸法表(mm)

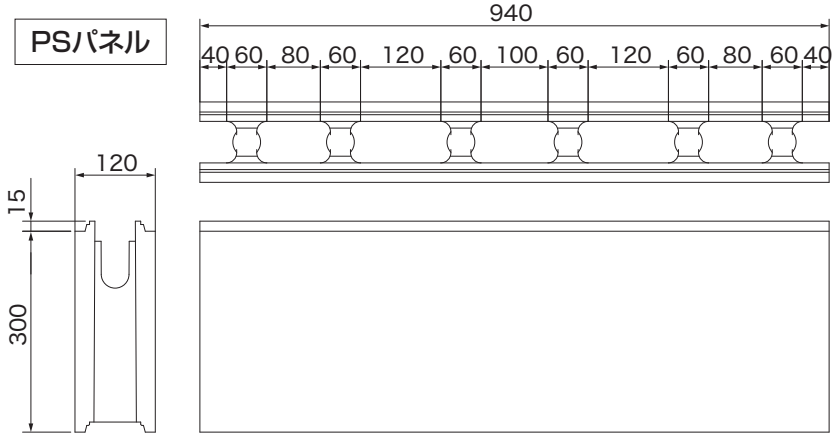
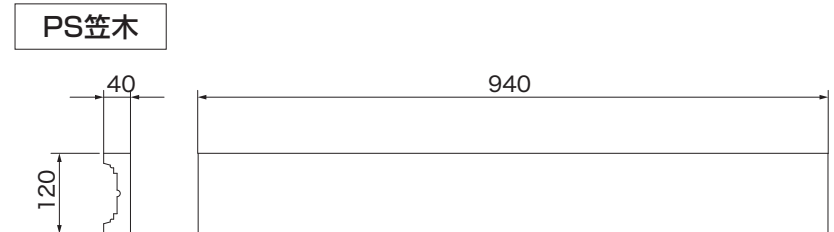
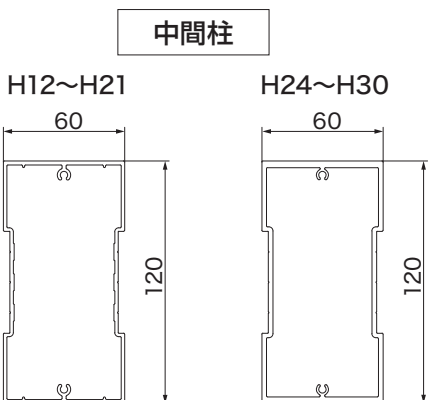
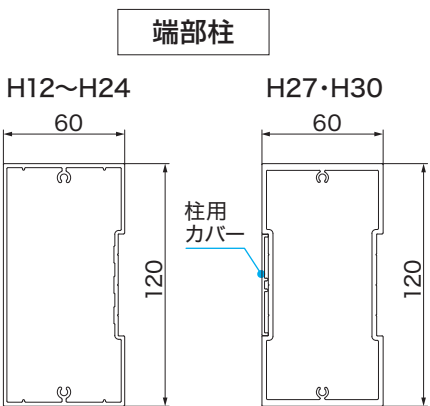
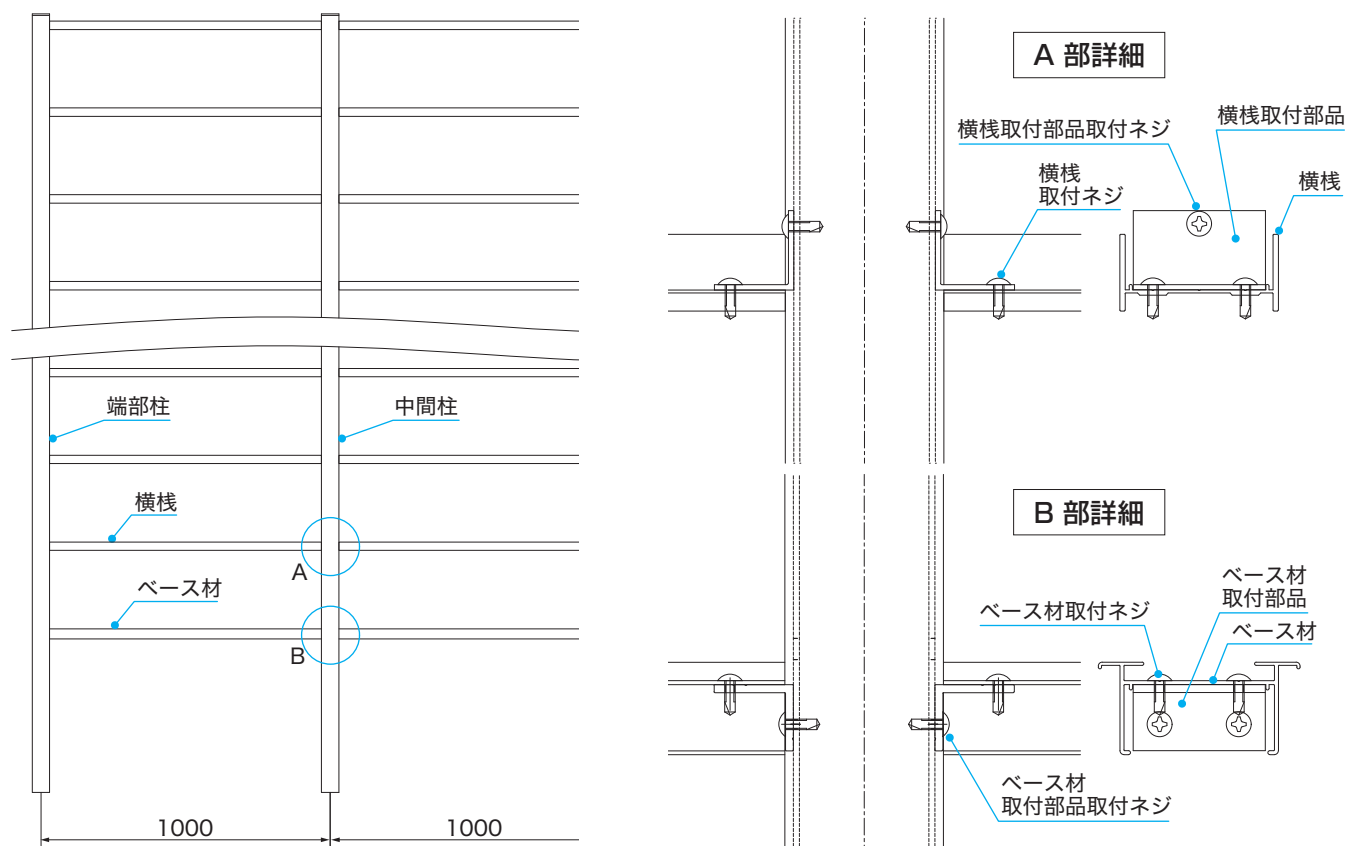
サイズ	H1200		H1500		H1800		H2100		H2400		H2700		H3000
タイプ	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様	貼り仕様	塗装仕様
H	1243		1543		1844		2144		2445		2745		3046
H1	1263		1563		1864		2164		2465		2765		3066
H2	1713		2013		2364		2694		2990		3465		3866
A	250		250		300		300		400		350		350
B	450		450		500		530		525		700		800

※塗装仕様17kg/m³の場合は軽量セメントモルタル10mm厚塗りの場合を想定しています。貼り仕様は両面貼りを想定しています。※柱偏芯の場合も同寸法です。※基礎寸法は、基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力50kN/m²の時の参考寸法です。

詳細図 1型・2型

現場貼付タイプ 現場塗装タイプ 片面工場塗装タイプ

構造部材取付詳細



現場塗装タイプ

現場塗装タイプ 膜厚を確保できる仕上げパターン (膜厚は2mm以上を確保してください。)

パレットHG、パレットクリームHG

四国化成建材株式会社



ジョリパットアルファ

アイカ工業株式会社



※上記「下地調整材」「仕上げ塗材」は当社で性能を確認しています。必ず上記をお使いください。
 ※仕上げ塗材の塗膜の収縮や膜厚不足(2mm以下)によって下地の影響(下地の凸凹がそのまま反映されたり、メッシュの網目が見える等)を受けることがありますので、仕上げ材の膜厚については2mm以上を確保してください。当社では膜厚の確保できる仕上げパターンを設定しております。
 ※下地調整材についてもしっかりと膜厚(カチオン2mm、軽量モルタル5~10mm)を確保し、平滑に仕上げるようにしてください。【P67】も参照してください。
 ※塗膜の収縮により、下地の影響が浮き出ることがあります。仕上げ厚が薄いほど影響を受けやすいため、塗膜のあるものを中心に指定パターンを設定しております。【P67】も参照してください。
 ※指定仕上げパターンでの塗装においても、陽の当たり方等によって下地の影響が浮き出ることがあります。
 ※上記は参考画像ですので、各塗材メーカーのカタログもご覧ください。
 ※仕上がりは施工環境・下地の状態・施工業者などにより異なることがあります。印刷物につき製品写真と実物とは多少相違することがあります。
 ※施工は必ず各塗材メーカーの指示・注意事項に従って行ってください。塗材や各パターンの施工方法・専用道具など詳細については各塗材メーカーにお問い合わせください。

【パレットHG、パレットクリームHG】のお問い合わせ

四国化成建材株式会社

■ホームページアドレス
<https://kenzai.shikoku.co.jp>
 ■お問い合わせ先

販売・施工・設計関係のお客様からのお問い合わせは、最寄りの営業所にお電話ください。



【ジョリパットアルファ】のお問い合わせ

アイカ工業株式会社

■ホームページアドレス
<https://www.aica.co.jp/>
 ■お問い合わせセンター

TEL 0120-525-100 / 052-409-8313



施工および使用上のご注意

■ 施工上のご注意

① 運搬及び保管

- 本製品は、パネル等に硬質ポリスチレンフォーム材を使用しています。硬質ポリスチレンフォーム材は、生地の部分が長時間直接太陽光のもとに放置されると紫外線により劣化するおそれがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
- 硬質ポリスチレンフォーム材は80℃以上になると変形します。高温の物や火気が無い場所に保管してください。
- 搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意してください。傷、へこみ、破損の原因になります。
- 当社汎用プライマーは、水性です。凍結させないでください。凍結させると本来の性能を発揮できなくなります。

② 施工

- 正しく施工・組付していただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 本製品の施工につきましては、必ず取付説明書にしたがってください。
- できる限り施工前に太陽光に当てないでください。部材が反ったり伸縮する恐れがあります。
- 落としたり、物を当てたりしないでください。傷・へこみ・破損の原因となります。
- 車の排気ガスが直接当たる場所や、エアコンの室外機近くなど高温になる場所への設置はしないでください。変形や破損の原因になります。
- パネルを持つ際、汚れた手で触ると汚れが付いて落ちにくくなります。ご注意ください。
- パネルに汚れ等が付いた場合は、中性洗剤を用いて柔らかいブラシ等で洗い流してください。
- 塗装・接着の際、表面に付着しているごみ・土砂・油分等は除去してください。
- 特性上、本製品には色差・色ムラがあります。
- 基礎部のコンクリートには、急結材や海砂を使用しないでください。柱等の腐食の原因になります。
- ヒートガン等の熱を発する工具を用いしないでください。PSパネルの変形や仕上げ材の剥離等の原因になります。

【PSパネル仕上仕様について】

- 1型、2型の規格PSパネル部材は両面生地の状態で出荷されますが、片面に塗料を塗布できない現場用に、片面塗装済みパネル(特注)があります。
- ユニット門袖S-1型は、塗装済み仕様のみになります。
- ユニット角門柱は、生地仕様のみになります。
- 組立前に現場でPSパネルごとに塗装しないでください。組付け不良の原因になります。片面に仕上できない現場では、片面塗装済みパネル(特注)を使用してください。

【接着剤について】

- 接着剤は当社規格品または、当社指定品を使用してください。シンナー等を含む溶剤型の接着剤を使用すると硬質ポリスチレンフォーム材が溶解するおそれがあります。
 - 硬質ポリスチレンフォーム材同士を接着する場合
[当社規格品]…オプション接着剤セット、貼り物用接着剤セット※
[当社指定品]…(変成シリコン系接着剤) コニシ社 MPX-1/セメダイン社 タイルエースPro
 - 硬質ポリスチレンフォーム材にタイル等を接着する場合
[当社規格品]…貼り物用接着剤セット※
[当社指定品]…セメダイン社 タイルエースPro/ニッタイ工業社 EY-21
- ※上記接着剤は弊社にて接着力を確認しております。
※貼り物用接着剤セットは、タイルの貼付けやアクセントパネルの広範囲貼付けにご使用ください。
- ※ガンタイプ・チューブタイプの接着剤は、小さい部材の貼付けにご使用ください。
- 石材、タイル等の固定は接着剤による貼付のみになります。金物との併用やモルタルによる貼付けはできません。
- 石材、タイル等を接着する場合は、接着剤は全面塗布してください。点付け塗布は避けてください。
- 接着剤は必ず生地の状態に貼付けてください。汎用プライマーや仕上げ塗材の上に貼付けしないでください。
- 接着方法は接着剤の施工説明書等に記載された内容に準じておこなってください。

■ 使用上のご注意

- 塗装済、現場塗装仕上の場合、年に2-3回の水洗いをしてください。その場合、金属製ブラシや金ペラ等は使用しないでください。表面を傷める可能性があります。柔らかいナイロンブラシなどを使用してください。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とした後で、水洗いしてください。
- 洗浄機での洗浄をおこなう場合は、必ず噴射角を「拡散」にし、目立たない所で試し洗浄をし、問題がないことを確認してからおこなってください。絶対に「直噴」での洗浄はしないでください。パネルが破損する可能性があります。
- 真夏の炎天下での洗浄は避けてください。急激な温度変化によりパネルが収縮する可能性があります。
- 本製品の材質は硬質ポリスチレンフォームを使用しています。変形や仕上げ材の剥離、火災の原因となる場合がありますので、火気や暖房器具を近づけたり、車の排気ガス等の高熱が直接あたらないようにしてください。また、シンナーなどの有機溶剤の使用は避けてください。

【コーキング材について】

- コーキング材は必ず当社規格品または変成シリコン系ノンブリードタイプを使用してください。
[当社規格品]…コーキング材セット(ライトグレー)

【汎用プライマーについて】

- 現場で塗装仕上をする場合は必ず当社規格品の汎用プライマーを施工してください。
- 汎用プライマーは気温5℃以下及び、下地0℃以下での施工を避けてください。
- 汎用プライマーは、塗布した状態で長時間直接太陽光のもとに放置されると紫外線により劣化するおそれがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
- 汎用プライマー無しで仕上げ塗材を施工したり、当社規格の汎用プライマー以外を使用しないでください。剥離の原因になります。
- 汎用プライマーには特殊骨材が入っています。塗布前によく攪拌し、ローラーで塗布する場合にも都度よく攪拌してください。塗ムラの原因になります。擦り付けるように下地になじませ、塗材を置いておく要領で厚みを持たせて均一に塗布してください。薄すぎたりダマにならないようにしてください。

【下地調整材について】

- 下地調整材は当社指定品または、軽量セメントモルタル(JISA6918)を用いてください。
[当社指定品]…四国化成建材社 SKカチオンプラスター弾性タイプ
- 既調査軽量セメントモルタルを用いる場合は塗厚5~10mm程度で仕上げ、仕上げ塗材施工前に各塗材メーカー指定のシーラー処理をしてください。
- 下地調整材は当社汎用プライマーを塗装後、完全に乾燥してから施工してください。
- 下地調整材は平滑に仕上げてください。
- 施工方法は下地調整材の施工要領書等に記載された内容に準じておこなってください。

【仕上げ塗材について】

- 仕上げ塗材は下記の水性塗材を使用してください。シンナー等を含む溶剤型の仕上げ塗材を使用すると硬質ポリスチレンフォーム材が溶解するおそれがあります。
[水性塗材]…四国化成建材社 パレットHG/
四国化成建材社 パレットクリームHG/
アイカ工業社 ジョリパットアルファ(JP-100)
- ※当社指定品「下地調整材」「仕上げ塗材」は当社で性能を確認しています。必ず当社指定品をお使いください。
- ※上記「下地調整材」「仕上げ塗材」は当社で性能を確認しています。必ず上記をお使いください。
- ※仕上げ塗材の塗膜の収縮や膜厚不足(2mm以下)によって下地の影響(下地の凸凹がそのまま反映されたり、メッシュの網目が見える等)を受けることがありますので、仕上げ材の膜厚については2mm以上を確保してください。当社では膜厚の確保できる仕上げパターンを設定しております。
- ※下地調整材についてもしっかりと膜厚(カチオン2mm、軽量モルタル5~10mm)を確保し、平滑に仕上げるようにしてください。[P67]も参照してください。
- 仕上げ塗材が濃色の場合は季節を問わず、直射日光が当たると塗材表面が高温になり蓄熱水蒸気膨れが発生する場合があります。日光を避けるなど、高温にならないための養生を施して塗装をおこなってください。
- 部材間に隙間や段差が生じる場合があります。現場塗装仕上の場合、下地調整剤またはコーキング材にて隙間や段差をなくしてから仕上げ塗装を行ってください。塗装割れや段差の原因になります。

【免責事項】

- 下記の場合の不具合については、免責とさせていただきます。
 - 当社指定品以外のご使用・当社指定仕上げパターン以外の施工がなされた場合。
 - 当社ならび材料メーカーの指定する標準施工法から逸脱した施工がなされた場合。
 - その他、施工上の瑕疵、塗材の自然劣化、天災、事故等、当社の責に帰さない事由による場合。
 - 塗材・下地調整材を塗装して得られる塗膜は、塗装業者様の製品となるため、塗装業者様が仕上がりに責任を負います。

- 事故などの原因になりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- ケガや事故の原因になりますので、製品を破損・変形したまま使用しないでください。
- 破損や事故の原因となりますので、重い物を乗せたり、寄りかかったり、ぶら下がったり、強い衝撃などを与えないでください。
- 破損や事故の原因になりますので、開口部を設けた場合は、開口部に重いものをのせたり、足をかけたり、ぶら下がったりなどしないでください。
- 現場塗装仕上の場合、降雨等で塗面が水分を含むと色ムラが生じることがありますが、乾燥すれば元に戻ります。
- 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとして使用しないでください。思わぬ事故につながり、ケガをするおそれがあります。
- 本製品の強度基準を超えた条件下でのご使用は避けてください。